問題の学力のレベルレベル 10-C

9

〇調 査問 題

3 これが最も適切ですか。それぞれ一つ選びなさい。次の(1~3)の文では、()の中の1~4の 集中」 安心 \mathcal{O} 対 義 4 語 は 分散 1 である。 木 難 2 退た 屈る

(1)

〇 調 査 問 題 の 趣 旨・内 容

【問題の概要】 文中にあてはまる適切な対義語を選択する。

【出題の趣旨】 対義語を理解する。

〇誤答分析

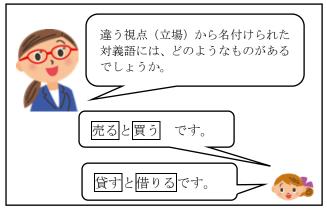
解答類型	1	2	3	④ 正答	0 無解答	その他
反応率	11.4%	46.9%	6.0%	34.8%	0.9%	0.0%

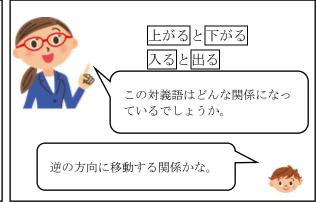
- ○正答率は34.8%である。
- 〇誤答のうち、「退屈」と解答した割合が46.9%と最も高く、次いで「困難」が11.4%、「安心」が6%となっている。
- ○解答で最も多かった「退屈」という誤答の主な原因は、日常生活において、例えば、授業中などの場面において、「(物事に)集中している状態」の反対の意味で「退屈している状態」と感覚でとらえている生徒が多いことにある。日常的に用いている表現の中には、文脈としては反対の意味を表していても、言葉を抜き出して比較してみると、その言葉自体が対義語の関係にならない表現もある。言語に対する正誤・適否・美醜などについての感覚も大切にしつつ、言葉がもつ本来の意味を正しく理解し、判断できるようにさせたい。

〇指導上のポイント

<u>語彙学習と</u>しての体系的な対義語の指導

○対義語は、いくつかの種類に分類できることを押さえることで、体系的に指導することができる。 (例えば、「互いに補う関係」(「あたり」と「はずれ」など)、「状態の変化に関する関係」 (「結ぶ」と「ほどく」など))

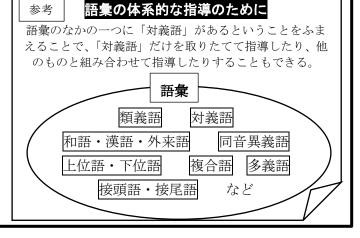




間違いやすい対義語で意味を正しく理解することを実感させる指導

○「類似問題」(下記)のような間違いやすい対義語を取り扱うことで、日常生活に即して言葉の 意味を正しく理解することの重要性を実感させるようにする。





〇 類 似 問 題

